



命まもれ! 五輪中止でコロナに集中を



左から加藤英雄県議、みわ由美県議

みわ由美です。私は、保健所や病院で命守る最前線で働く現場の声を伺ってきました。「救える命も救えない」…ところが医療施設や業者への支援は不十分、検査やワクチンも少なく遅い。県議団は4月30日知事に、「五輪開催中止の決断を国に求め、今度こそコロナ対策に集中し抑えこめ」と緊急要請しました。



変異株急増 緊急申し入れ 感染抑えこむ本気のとりくみを

◀2月10日 本会議場で、コロナ対策を質問し提案する みわ由美県議

1 一日2万超の最大PCR検査力活かせ 無料の大規模検査体制はやく

少なすぎる検査。一日PCR検査数(4月)は多い日でも数千件、変異株検査(4月中頃)は約28%程度です。これでは抑えこめません。

- ▶高齢者・障害者・医療・学校・児童施設等の職員や関係者への定期的頻回検査
- ▶変異株検査の大幅引上げ
- ▶無料で何度でも可能な、無症状者への大規模検査体制(住民全員対象)

2 予約できない大混乱 医療従事者・高齢者へのワクチン接種を急げ

少なく遅い。県内医療従事者等のワクチン接種率も2回目34%程度(4/23)。松戸市内の高齢者からワクチン予約できないと悲鳴と怒りが。

- ▶医療従事者や患者、高齢者など優先すべき人への早期接種
- ▶情報の公表 ▶医療機関での個別接種など



#困ったときは
日本共産党に

ワクチン、
電話
かからない

4月17日 政策宣伝中、中和倉商店街スーパー前で「ワクチン予約の電話が通じない」という多数の訴えをさく みわ由美県議

3 店、会社つぶさないで! 十分な補償、「協力金」早く手元に

「遅い!」苦境に立たされる業者から「3月中頃申請したがまだ入らず…」など苦情が相次ぐ千葉県。苦境に立つ業者に寄りそって。

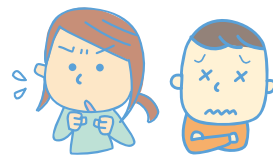
- ▶協力金の速やかな支給と手続き簡素化、体制強化
- ▶新たな持続化給付金および家賃支援給付金の給付

4 「命の選別させないで!」 必要な病床確保、医療機関への減収補てん

- ▶自宅待機は最小限で、入院・ホテル療養を原則に
- ▶コロナ受入れ医療機関や他の医療施設への支援
- ▶国による公立病院の病床削減や統廃合計画の中止

5 コロナ禍で深刻… 生活困窮者への支援もっと

- ▶緊急小口資金、総合支援資金の速やかな貸し付け
- ▶貸付窓口となる社会福祉協議会の体制強化
- ▶ひとり親家庭などへの支援



6 オリンピック・パラリンピックは中止し、 コロナ収束に集中するよう強く働きかける

コロナ、ワクチン接種に関してのお困りごとなど ☎047(349)1544

日本共産党松戸市議団(うつの史行・山口正子・平田きよみ・ミール計恵市議)と共にごんばります。市議控室 ☎047(366)7403



昨年7月マカロニ市場前(松戸新田)歩道で県交渉する住民とみわ由美県議(中央)うつの史行市議(右隣)ら



7年ごし運動で 歩道広げる 県が改善約束

狭くてキケン! 買物にいく高齢者から悲鳴があがっていた野菊野団地ちかくの県歩道。住民と日本共産党は7年前から署名も集め運動、やっと県が「幅2.5メートルに広げる設計で、今年

度中の工事めざす」と拡幅を約束。みわ県議は、「おそい!道路予算を、財界もうけ巨大開発優先から、命まもる生活道路最優先にチェンジを」と、あちこちから要望あいつぐ現地に走っています。

生活・
法律相談

毎月第3木曜日

☎047-
349-1544

要予約

生理の 貧困は、

みんなの問題

「今コロナで…収入減、生理用品を買えず交換回数へらした」
「代わりにトイレットペーパーや靴下で」
…こんな「生理の貧困」が大きな問題になっています。

アンケートで
声きかせて



提案
します

- ▶ 県の責任で、生理のある人への無償配布
- ▶ 公共施設・学校のトイレに生理用品常備



4月13日知事・教育長に「生理用品の無償配布を求める緊急要請」する みわ由美県議、浅野ふみ子党県副委員長、さいとう和子前衆議院議員、かなみつ理恵さんら

生理の貧困 世界の動き

声が政府を
動かした

生理用品の無償提供をしている国は

- 英スコットランド [必要な人すべて対象]
- ニュージーランド [小中高校]
- 英国 [小中学校・病院]
- フランス [すべての学生]

千葉県でも (5/24) 20自治体で支援広がる (5.19)

市川市	松戸市	君津市・木更津市
防災備蓄の「女性支援セット」を配布	防災備蓄用の生理用品を15ヶ所で無償配布	防災備蓄用の生理用品を小中学校の女子トイレに配備



4月21日県西部防災センターの生理用品の状況を見る(右から)ミール計恵市議、みわ由美県議ら

県西部防災センター (松戸市) 視察 県もすぐに提供を!

「生理の貧困」が叫ばれているのに…ピクとも動かない千葉県。いてもたってもいられず、県西部防災センターの備蓄倉庫視察を4月21日実施。県全体約6万7000個のうち同センターでは9000個の備蓄があることが確認できました。

最も古いものは2015年製なのに、県危機管理課は「明確な使用期限はない」などと回答。同時に「必

要な人に支援する仕組みが必要、今後の検討課題」と述べました。

みわ県議は「コロナ禍で収入が減り、生理用品が買えない深刻な事態も広がっている。災害備蓄用の無料配布を行った自治体が県内でも増えている。県もすぐに積極的対応を」と強調しました。



学童っ子元気イッパイ

「密」改善して!



4月、みわ県議と日本共産党松戸市議団が、市内3カ所の学童保育を訪問しました。当日は雨。ある学童では、狭いルームに100人近い低学年がひしめく映画会、ある学童では当日30人を超える新一年生が遊んでいた教室が学校事情で急に使えなくなり、狭い保育ルームは70数人の子の元気と熱気で溢れました。指導員らは「コロナだから『密を避ける』よ

うガイドラインはきいているが、もっとスペースを広げてもらわないと無理」と悲鳴。「密」強い政治の責任は重大です。県は市任せ、市は委託先の民間に丸投げ状態。これでは解決せず、学童ではたらく人たちの待遇改善も急務です。笑顔で遊ぶたくさんの学童っ子に会えて元気もらった! ありがとう。早急な改善にがんばります。



学童保育のこどもたちと語りあうみわ由美県議



4月5日(左から)平田きよみ、山口正子、ミール計恵)党松戸市議団と共に学童保育を視察するみわ県議。うつの史行市議も参加

日本共産党

よしみ
みわ由美

みわ由美プロフィール

1955年、京都生まれ。立命館大学産業社会学部卒業後、大阪や京都で会社勤務。88年党松戸市議団事務局長。99年、千葉県議会議員選挙(松戸市)で初当選。県議5期目。現在、健康福祉常任委員。党市コロナ対策本部長。趣味はギターの弾き語り。

ジェンダー平等社会の実現を党綱領にかかげる政党です。総選挙で躍進させて下さい。

みわ由美は、一人もとりのこさない。個人の尊厳を大切にする社会の実現をめざします。

日本共産党